

保護者学校評価アンケートの結果

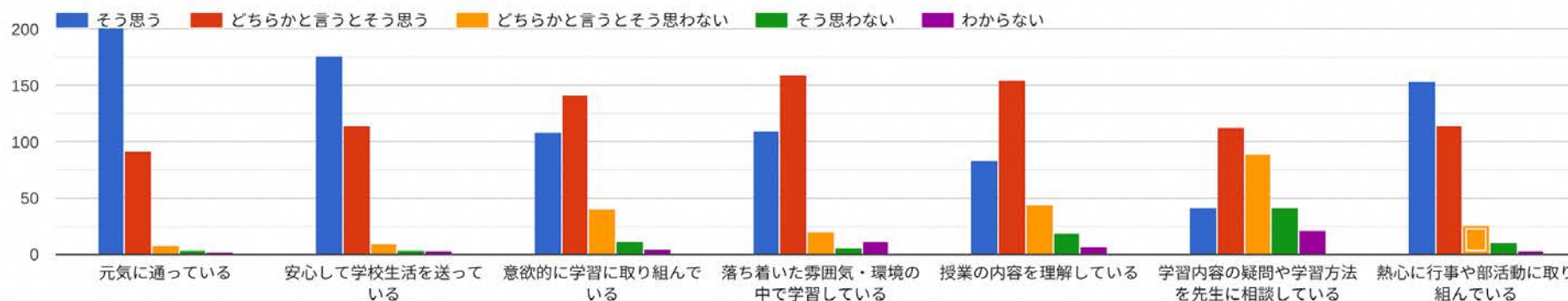
春寒の候、皆さまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。2021年12月に実施した学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございます。300を超える回答をいただきアンケート結果を真摯に受け止め、今後の教育活動の充実・改善に生かしてまいります。

■学校生活について

とくに『元気に通っているか』『安心して生活を送っているか』では、「そう思う・どちらかと言うとそう思う」合わせ90%を超え、好意的な評価いただいていると感じられる結果となりました。保護者意見からも「コロナ禍で厳しい状況の中、丁寧で熱心なご指導に感謝しています」「先生方や保健室で、子供たちが相談できる環境があり感謝しています。」など励ましの言葉をいただき感謝しております。

しかし『学習内容の疑問や学習方法を先生に相談している』では、「どちらかと言うとそう思わない・そう思わない」や「わからない」を合わせると50%近くとなり、保護者からも「評価したとき何が問題だったのか、どうすればより良くなるのかなどアドバイスしてほしい」「学習指導要領の変更やコロナ禍もあり、授業の進み方が心配です。フォローはどのように行っているのか」などが上がっています。相談体制や質問のしやすい授業や環境づくり、基礎・基本が定着できるような授業づくりとなるよう努めてまいります。

生徒の学校生活や授業の様子について



■授業について

各学年、各教科で、生徒へ授業評価アンケートを行いました。各学年、各教科とも『授業はわかりやすいか』『板書やプリント内容はわかりやすい』では、おおむね良い評価をもらいました。また『授業中問題を考えたり、話し合う時間を適切に取っているか』でも多く取り入れられていると生徒も感じているようです。また「子供から聞く話によりますと、各科目の授業でも科目に関連させつつこれから成長し社会に出ていく生徒達の指針となるような話があり、ありがたいです」と保護者からの意見もあり、教科横断型や問題解決学習がより一層、進めてまいります。今後も『主体的・対話的で深い学び』を体現するために、今年度導入されたChromeBookなどICT機器を活用しながら、グループワーク等を充実させてまいります。また、特別に支援を要する生徒が増えてきているので、ユニバーサルデザインの志向を意識しながら、基礎基本の学習の定着を目指します。

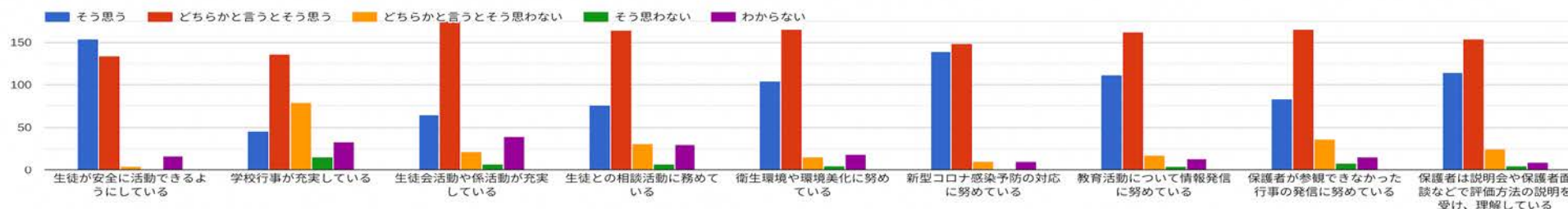
■学校運営について

保護者からはおおむね好評をいただいているように感じています。「授業だけでなく消毒作業などいつもありがとうございます」「コロナ禍でも子どもたちのためにできることを考えていただいて感謝しています。できないではなく、できることを楽しもうとすることを学んだと思いました」「感染対策と学校活動のバランスが難しい中、Eメールや書面、ホームページなどの情報発信があり助かりました」など、基本的な感染予防対策を考慮した学校運営にご理解いただいていると感じられ、感謝しています。

しかし「学校行事が充実している」に関しては、コロナ禍もあり「どちらかというと思わない」「そう思わない」「わからない」が40%近くになっています。今年度の学校行事においては、できうる限りの感染対策を講じながらハード面、ソフト面を熟慮したうえで、生徒会や生徒実行委員会を中心となって進めてきました。いろいろな行事に対して、生徒の振り返りからも、この状況の中ではありますが、おおむね満足しているように感じました。引き続き、感染状況を鑑みながら、学校行事を検討、実施していきたいと思えます。

今年度も多くの場面で、生徒の活動風景を直接参観することができず、学校での様子を知る機会が減り、大変申し訳なく思っております。職員も残念に思っています。その中、10月下旬に感染対策を講じながら授業参観を実施させていただきました。保護者からも『わからない』と回答している部分がありました。学校だよりや学校ホームページ、学校配布物など多くのツールを使いながら情報発信に努めてまいります。

学校運営について



【保護者の方からのご意見、ご質問に関する回答】

Q. 学校給食もあるので、午前授業のときはお弁当を食べてからの下校にしてほしい。

A.

学校給食の関係や食育の観点からも来年度以降、面談など午前授業時は授業確保ができるよう時程を工夫して昼食を済ませてからの下校の形で考えていきます。

Q. コロナ禍の中、学校行事や部活動など実施の判断が難しいかと思えます。柔軟な実施をしてほしい。

A.

感染拡大防止を鑑み、子どもたちの安全を優先し、市のガイドラインを遵守しながら、子どもたちの教育活動が可能な限り実施できるように努めていきます。この2年間は、学校行事等はガイドラインの範囲の中で形態や内容を工夫しながら実施しています。

Q. 教室や特別教室で、授業に集中しやすい環境づくりや感染予防を進めてほしい。

A.

引き続き教室の感染予防（換気・消毒等）はやっていきます。また、PTAから寄贈された足踏み式消毒台の校内設置等、協力しながら学校の環境整備に努めていきます。ユニバーサルデザインについては特別支援の係中心に今後も進めていきます。

Q. 教科書の持ち帰りについて考えてほしい。また、ChromeBookが導入されたので、デジタル教科書の導入を検討してほしい。

A.

通常、教科書やノートは教室のロッカーに入れておくことができます。家庭学習に必要な教科書やノートを自己判断し、持ち帰るようにしています。長期休業の前はロッカーを空にするためにすべての荷物を持ち帰ることになります。

デジタル教科書の導入に関しては、令和4年度から生徒が使用するための学習者デジタル教科書を使用することが決定しております。対象の教科は、1年生が英語と技術、2年生が英語と技術、3年生が英語と美術です。

Q. 定期テストの平均点や順位、偏差値を提示してほしい。

A.

中学校においては「目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）」で評価を行っています。文部科学省で定めた学習内容をどの程度理解し、身に付けているかを「観点別学習状況の評価」と「評定」の二つで表します。定期テストの平均点や順位、偏差値を基準として評価を行っているのではなく、学習指導要領に示す目標に照らしてその実現状況を評価するものであり、「観点別学習状況の評価」を基本として、生徒の学習の到達度を適切に評価しています。今後も定期テストの平均点や順位、偏差値等を提示することはございません。

Q. 交通安全指導や防犯などの声掛けやSNS研修など、生活上の安全指導をしてほしい。

A.

交通安全は3年間に1度の頻度で実施しています。防犯は日々部の顧問や担任から話しをしてもらい、総下校時には職員何名かで巡回を行っています。